



人間が抱くような印象を理解できる情報システムへ

心理情報学、人間工学

情報科学研究科 システム工学専攻

助教 カストナー マークアウレル Marc A. Kastner

研究シーズの概要

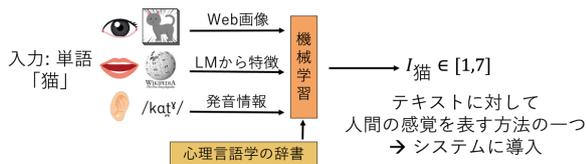
ユーザデータには様々なモダリティがあります。文章、画像、音声、お互いに連携しているデータが増えています。ただ、関係性やニュアンスなどを人間らしく結び付けるのは困難です。私の研究では、心理学、言語学、社会科学、すなわち人間を研究する専門分野を見習って、それらの理論を情報システムに導入することに取り組んでいます。

研究シーズの詳細

◆研究例①◆

単語のイメージしやすさ (心像性: Imageability)

心像性の推定

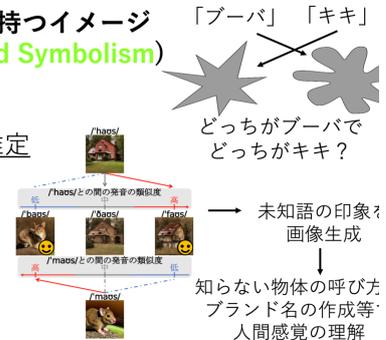


◆研究例②◆

未知語の発音を持つイメージ (音象徴性: Sound Symbolism)

未知語の印象推定

アイデア：
未知語の発音を持つイメージは類音語の連想



情報システムで人間感覚を理解するには、心理学等、学際的なアプローチが必要です。心理言語学の指標の一つとして、単語のイメージしやすさを研究しています。データマイニングや機械学習を用いた単語のイメージしやすさの推定方法に取り組んでいます。また、得られた推定データを導入して、人間と自然なコミュニケーションできるようなシステムやロボット等の実現のため研究をしています。

コミュニケーションに対して人間の印象を把握するには、未知語（存在しない単語）の印象理解も重要だと考えられています。心理言語学や心理音響学を用いて、ブランド名の印象や知らない物体の呼び方について研究をしています。

想定される用途・応用例

- ◆ ユーザーの印象推定、感情推定
- ◆ 個人性や主観性があるデータの処理
- ◆ 心理学を用いた情報処理

セールスポイント

本研究では、データを人間の目から見て、データを心理レベルまで理解するものを目指しています。コンピュータビジョン技術や言語処理や音声処理を用いて、それぞれのデータの人間らしいニュアンスを含んだ結び付け方について研究しています。特に、データに関する感情、印象、人間のイメージについて興味があります。共同研究や技術相談などに興味がありましたら気軽にご連絡ください。

問い合わせ先：広島市立大学 地域共創センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)